

近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所	配布日時	平成 24 年 7 月 23 日 14 時 00 分
資料配布		

件 名	＜河道閉塞等の本格的対策方針を議論＞ 第 2 回河道閉塞等対策検討委員会の開催
-----	--

概 要	<p>○台風 12 号で発生した河道閉塞等の対策工事を実施にあたり、「河道閉塞等対策検討委員会」において、各分野の有識者から助言を得ながら対策工法等の検討を進めます。</p> <p>○委員会の内容 河道閉塞箇所（赤谷、長殿、栗平、北股、熊野）及び大規模斜面崩壊箇所（宇井、坪内、三越）における本格的対策方針について議論いたします。 日時：平成 24 年 7 月 24 日（火） 9：30～12：30 場所：奈良県橿原文化会館 第 2 会議室 （奈良県橿原市北八木町 3 丁目 65－5）</p> <p>○取材についてのお願い ・委員会は非公開で行います。 ・なお、委員会の冒頭のカメラ撮りは可能です。 ・委員会終了後 12：45 より取材対応を行います。</p>
取 扱 い	_____

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 和歌山県地方新聞協会 奈良県政・経済記者クラブ 五條市政記者クラブ
------	--

問 合 せ 先	国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所 副所長 大下 正和 工務課長 大山 誠 TEL 0747-25-3111 FAX 0747-25-3276
---------	--

**<河道閉塞等の本格的対策方針を議論>
第2回河道閉塞等対策検討委員会の開催**

1. 目的

平成23年9月の台風12号において、紀伊半島では多数土砂災害が発生しました。その中でも大規模な河道閉塞（天然ダム）や崩壊箇所については、全国的にも対策の実施事例が少なく、かつ対策の検討にあたっては、砂防工学のみならず、地質・地形学、河川工学等の幅広い知見が求められることから、各分野の有識者の助言を得ながら対策工法の検討を進めるため、河道閉塞等対策検討委員会を設置しました。

今回、河道閉塞箇所及び大規模斜面崩壊箇所（別図1）における本格的対策方針について議論いたします。

2. 開催日程

- ・第2回：平成24年7月24日（火）9時30分～12時30分
奈良県橿原文化会館 第2会議室

3. 委員メンバー

委員長	水山 高久	京都大学大学院 農学研究科 教授	山地保全学	出席
委員	千木良雅弘	京都大学防災研究所 地盤災害研究部門 教授	斜面崩壊・地質	出席
委員	藤田 正治	京都大学防災研究所 流域研究センター 教授	土石流	出席
委員	松村 和樹	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授	砂防構造物	出席
委員	後藤 宏二	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター長	砂防	出席
委員	服部 敦	国土技術政策総合研究所 河川研究部河川研究室長	河川	出席

その他、奈良県、和歌山県、市町村等関係機関からオブザーバー参加予定

4. 今後のスケジュール予定

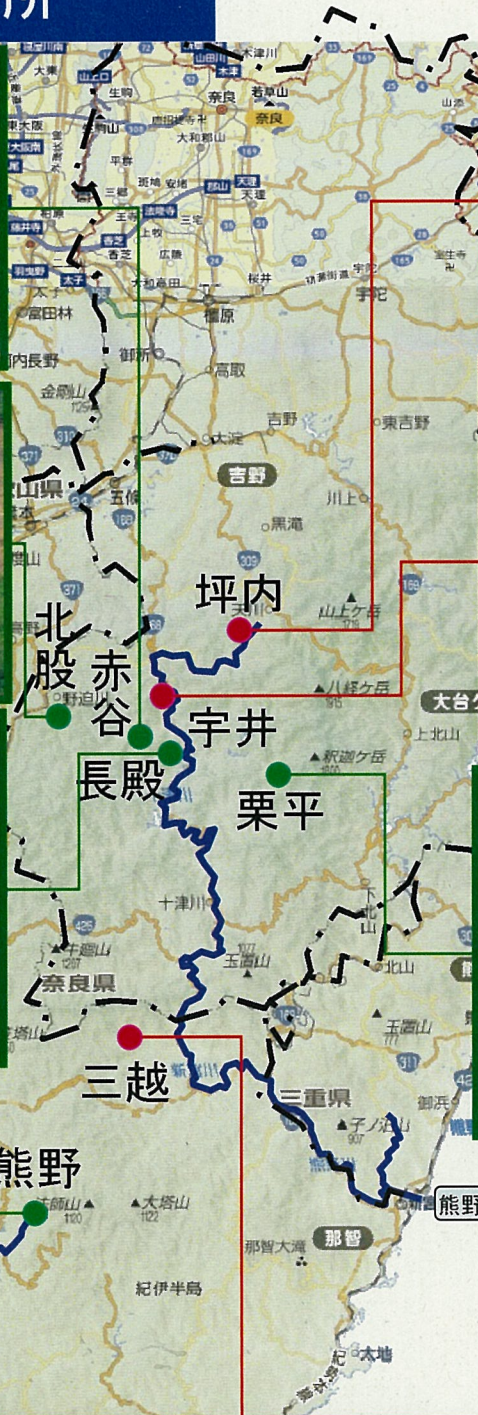
- ・今年8月以降に第3回委員会を開催し、対策の基本方針及び各地区対策案を確定

5. 取材についてのお願い

- ・委員会は非公開で行います。
- ・なお、委員会の冒頭のカメラ撮りは可能です。
- ・委員会終了後12：45より取材対応を行います。

議論対象箇所

別図1



- 河道閉塞
- 大規模斜面崩壊

